

V カット機導入による、 V カット貼箱の国内製造の実現

包装の多様化ニーズにより、高級紙製貼箱の需要が大幅に増加している。高級貼箱市場では iPhoneBOX（V カット貼箱）のような直角がでる貼箱が求められているが国内には製造できるメーカーが存在しない。当社が先立って技術を習得し、国内高級貼箱市場での地歩を固める。



導入機：V カットマシン

事業のきっかけや目的

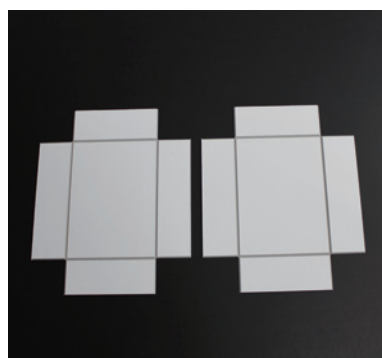
近年、スマートフォンの普及、iPhoneBOX が市場に出回ったことにより、他商品との差別化ができる高品質な V カット BOX の問い合わせが急激に増加している。V カット箱の最大の特徴は、厚みのある紙を V の字にカットして貼り合わせているため、90 度の角度が再現でき、またその強度によって生まれるパッケージ自体の力強さ・重厚感である。高品質の貼箱製作技術を有していることは、高品質な貼箱の引き合い・打診につながる。高精度な仕上りが期待できる貼箱 V カットマシンの導入は、国内初の取り組みであり、大都市・東アジアとの競争を勝ち抜くための競争力強化に不可欠であった。

事業の取組み内容と成果

インテリア雑貨市場、ギフト市場だけでなくスマートフォンをはじめデジカメなど弱電商品向けの売り上げを増加させるため、高精度貼箱用Vカット機を導入し、高品質な貼箱VカットBOX製作に向けた試作検討を行った。現在、四隅の接着方法や90度に折り曲げるためのコーナークットの調節、専用貼紙の選定などの課題に取り組んでいる。



機械操作風景



V カット加工例



Vカット BOX 例

今後の取組み

現在、東京の老舗和紙問屋や大手企業からの引き合いが来ている。早い時期に供給できる体制を構築していく。また、近年海外では日本の文化が高く評価され、格好良いものとして受け入れられ流行している。阿波和紙も日本独自の素材としてその風合い、質感は海外にはないもので、日本発の文化的な商品として一定の支持が得られると考える。今後、大手企業とコラボした商品展開に力を注ぎ、海外展開を図っていく。



事業 者 株式会社山文
代 表 者 代表取締役 山根 正伍
設立年月日 昭和59年10月
所在地等 〒779-3403
徳島県吉野川市山川町堤外35-6
TEL 0883-42-2234
FAX 0883-42-5111
URL <http://www.yamabun-85.com>
事業の種類 ものづくり技術
資本金額 2,150万円
従業員数 20名
業 種 パルプ・紙・紙加工品製造業